

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	神戸市立まるやま学園		
○保護者評価実施期間	2024年10月15日		～ 2024年10月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	83	(回答者数) 69
○従業者評価実施期間	2024年11月11日		～ 2024年11月29日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	24	(回答者数) 24
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月24日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個々の子どもの特性を踏まえきめ細やかな療育支援。	・新規契約前の見学会・療育体験などの機会を設け、子どもの特性を把握し児童発達支援計画を策定している。 ・毎日の朝礼・終礼やミーティングを通じて療育支援の内容や子どもの様子や配慮事項等を共有し療育に活かしている。	引き続き個々の子どもの状況の把握に努め、きめ細やかな療育支援を行う。
2	神戸市総合療育センター内にあるため、併設の診療所の医師や療法士等の多職種専門職との連携による療育支援。	・療法士等が子どもの状況に応じて療育場面に参加し、必要な助言をしている。 ・難聴児クラスでは言語聴覚士が参加するチーム療育を定期的実施している。	引き続き、多職種専門職と連携していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1			
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 神戸市立まるやま学園

公表日 2025年 2月 14日

利用児童数

83

回収数

69

	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	67	2	0	0	十分すぎるくらいだと思う。 夏の水遊びのスペースを工夫してほしい。 のびのびと安心かつ安全に活動できていると思う。 園庭が小さいと思う。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	62	5	0	2	規定上、適切だと思うが、先生方が大変で負担が重そう。 かなりの配慮はされていると思う。 配置数が増えらるともう少しゆとりを持って業務ができると思う。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	68	1	0	0	視覚情報はバッチリだと思う。 基本的にはバリアフリーだと思う。 建物自体が古いので薄暗い印象、その中でも配慮はされている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	61	8	0	0	きれいにできている。 清潔に掃除などはされているが、トイレが古い。 冷暖房設備が老朽化していると感じる。	清潔で心地よく過ごせる環境となるよう努める。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	64	4	0	1	特性に合わせてクラス分けがされている。 十分に理解して頂き、安心して預けることが出来ている。 チーム療育として専門職も入ってくることがあり、特性を理解して支援してくれている。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。						
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	68	1	0	0	親のニーズにはかなり寄り添ってもらえている。 子どものことを十分理解し、大変満足のできる支援を行っている。 普段の様子をよく見、子どもを理解し、親との情報共有して、ニーズや課題を設定してくれている。	
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	68	1	0	0	段階を踏んで支援内容設定を行っている。 その都度必要な支援を相談内容から考えてもらえている。	
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	66	3	0	0	安心して任せられている。	
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	58	5	0	6	毎日違うプログラムになっていて飽きない。 毎月の設定あそびはさまざまなことが考えられている。 色々な体験をさせてもらっている。 クラスのねらいに沿って、ステップアップしていると思う。	引き続き、子どもの状況に応じた活動プログラムを工夫していく。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	54	4	5	6	機会はあるが、定型発達の子どもとどのように交流できていたかの様子が知りたい。 幼稚園交流の年齢層を検討してほしい。 小学校の児童と楽しく過ごしている様子がうかがえる。	引き続き、保育所や小学校等地域の子ども達との交流に努める。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	67	2	0	0	入園時に十分に説明があった。 口頭やプリントで説明してもらえている。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	68	1	0	0	丁寧に一つ一つ説明してもらえている。 確認しながら具体的に意図など説明してもらっている。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	67	1	0	1	定期的に勉強会等が行われている。 月1回保護者教室があり、療育に参加できる機会もある。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	68	1	0	0	定期的に学園での様子を伝えてくれ、親身に話を聞いてくれる。 毎日連絡帳でのやりとりがある。 連絡帳で伝えあい、足りない分は電話で共有できている。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	69	0	0	0	十分である。 定期的に面談もあるし、電話で相談もできる。 面談以外にも電話等で助言をもらえている。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	65	4	0	0	共感し受け止めてもらい、話しやすく相談しやすい。 子の成長を一緒に実感してもらえ、困っている点については理解して支援してもらっている。	
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	47	12	2	8	保護者同士の交流や支援はあるがきょうだい向けの支援はない。 日曜勉強会では、卒園生の保護者さんの話が聞けた。 きょうだい同士の交流があれば是非参加したい。	きょうだいへの支援を検討していく。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	65	2	0	2	わからないこと、相談はすぐ電話で対応してもらっている。 困ったことがあり相談すると、一緒に考えてくれる。 安心して相談しやすい。	
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	68	1	0	0	十分だと思う。 お知らせがひらがなで書かれてあったり、速足のプリントでは持ち物が絵で描かれている等配慮されている。 連絡帳や電話、お迎え時間に短くても話しやすい雰囲気がある。	
21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	56	6	1	6	毎月の献立や設定あそび、感染症、警報など発信されている。 活動中の写真が時々見られると嬉しい。	活動概要や行事予定等について情報発信を行うっていく。	

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	67	1	0	1	写真撮影の限定や、個人のSNSでの発信を注意するなど十分にされている。	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	63	3	0	3	避難訓練はいろんな想定でされている。 出入りのところなど施設内の防犯が少し心配ではある。	引き続き、災害発生を想定した訓練を実施する。 入口の施錠を行う等防犯に努める。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	64	1	0	4	毎月、火災・地震などを想定して行われている。	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	68	1	0	0	扉という扉の上部に鍵がつけられ、こどもが勝手に出ていけなくされているので安心。 バスも置き去りがないようにセンサーが設置されている。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	66	2	0	1	どんな些細なケガでも連絡帳や電話などで説明してくれる。 小さなケガでもきちんと状況を説明し、看護師が処置してくれている。	引き続き、事故等が発生した際には、こどもへの対応及び保護者への説明を迅速に行う。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	68	1	0	0	毎日通園するのを楽しみにしている。 とても安心できる場となっている。 担任の先生だけでなく他クラスの先生、看護師、バスの先生、バスの運転手にもよくしてもらっている。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	62	4	0	3	毎日楽しく通園している。 いつもワクワクで行っている。 担任が大好き。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	66	2	1	0	大変満足している。 多様なプログラムがあり、こども個人に合わせて寄り添ってもらえている。 提供時間が長ければより良い。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		神戸市立まるやま学園		公表日		2025年 2月 14日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		集約した保護者向け評価表のデータを全職員で共有し、保護者の意向等を把握するようにしている。また対応が可能な内容については改善に努めている。			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による外部評価は取り入れてない。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○					
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		活動プログラムの立案は、テーマごとに担当者を決めて検討し、ミーティングで全職員から意見をもらうようにしている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○					
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○					

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎日朝礼を実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日終礼を実施している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の同意を得たうえで、小学校や特別支援学校と、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		地域の障害児通所支援事業所等への見学、連携研修等を行っている。	
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		定期的に個別懇談等を実施している。	
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な個別懇談等において助言や支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			きょうだいへの支援は不十分のため、検討していく。

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		視覚支援など障害の特性に応じた意思疎通のための支援を行っている。メールで一斉連絡できる環境を設けている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		ホームページにて事業所情報を発信している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		看護師が保護者から聞き取りを行っている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		保護者からの聞き取りと医師の指示に基づき、管理栄養士、調理師、看護師、担任間で対応の共有を行っている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が発生した場合は報告書を作成し事業所内で共有を徹底し、再発防止策を検討している。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		全職員に対し虐待防止研修を実施している。虐待防止委員会を開催し、情報共有を図っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			